

● 移住交流支援センターだより ●

NPO
グリーンバレーの
伊藤・吉田が
お届けします。



お問合せ
☎676-1177
IP: 2028

新しい職員の紹介

7月から移住交流支援センターで働き始めた吉田涼子です。埼玉出身で、大埜地の集合住宅設計の仕事を引き継ぎました。空き家の片付けが終わりに、再び風が通り抜ける瞬間が大好きで、どの家も長く大切にされて欲しくなります。家主さん家族の歴史である家や土地、そして神山の風景を作っている家や土地を、新たな住み手につなぐ大事な仕事の一端に参加させていただいていると思って、頑張りたいです。

空き家から出るモノを再利用 「モノストック」オープンデー

9 / 23(木) 9時~12時
10 / 18(月) 9時~12時
神領青井夫・旧国道沿い



今月のインタビュー

4月に上角に移転オープンしたSHIZQ STORE（しずくストア）で、店長として働く佐坂さんをご紹介します。佐坂さんは2019年に神山に移住し、お店では神山杉から作られた器などを取り扱っています。

〈移住前の暮らし〉

子どもの頃からずっと阿南で暮らしていました。社会人になってからは、実家の飲食店を少し手伝ってから、県内の企業で事務職をしていました。給与や休みが保障された安定した職場ではあったのですが、忙しい毎日。働いた分を何かで補いたいと思い、不要な



ささかまきこ 阿南市出身
佐坂真木子
下分安吉在住

買った物で紛らわしている自分に気づき、働き方を見直そうと思うようになりました。

〈移住のきっかけ〉

母が上勝町で空き家を借りて暮らしはじめていたこともあり、上勝や神山の求人情報をインターネットで探していたところ、SHIZQの求人を見つけた。県外から移住してきたメンバーが、神山の人工林の課題に真剣に取り組んでいたこと、そして生き生きと仕事をしていることに惹かれて、すぐに応募しました。

〈神山での暮らし〉

しばらく阿南から通勤していたのですが、神山のことを自分の言葉でお客様に伝えられるようになりたいと思い、神山で家を借りることにしました。屋根裏から動物の足音がしたり、慣れない古民家の生活に引っ越し当初は家に帰るのがちょっとと憂鬱でした。そこから2ヶ月かけて家中を掃除して、インテリアを自分好みに変えるなどして、今ではホッと落ち着ける自分の家になっています。

〈お仕事について〉

実際に器を使って試飲していただき、SHIZQの世界観をストアで体感していただいています。町外からのお客さまも多く、町のこと、神山杉のこと、SHIZQが始まった経緯などをお伝えしていると、気がつくとも30分以上お話ししていることもあります。他には検品作業や、ネットから注文された商品の発送を担当して、贈答用に贈られる方が多いため、一点ずつ丁寧な作業を心がけています。



SHIZQ STOREの外観

〈今後の抱負〉

神山に引っ越してから、身近な人や自然の大切さに気がつけるようになりまし。これからは少しずつでも私から神山の方や自然への恩返しが出来ればと思います。

新規移住相談件数

6月…7件
7月…15件

